

ごあいさつ

人類にとっての危機である地球温暖化について、世界は1992年に「気候変動に関する国際連合枠組条約」を採択、2015年のパリ協定では温室効果ガスの削減が組み入れられ、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が掲げられました。



我が国では、令和2年10月に菅義偉内閣総理大臣(当時)が、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

本市におきましては、令和2年7月、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、市民の皆様の協力を得ながら、省エネやゴミの減量化に取り組んでいるところです。

今回策定した「高萩市再生可能エネルギービジョン」は、ゼロカーボンシティの実現を目指すうえで重要となる再生可能エネルギーの活用について、本市が有するポテンシャル調査の結果を踏まえ、市内全域における再生可能エネルギーの導入の可能性について示すものです。

将来の世代も安心して暮らせる持続可能な経済社会をつくるため、今後も関係機関と連携しながら地球温暖化対策に取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本ビジョンの策定にあたり、アンケート調査や貴重なご意見をいただきました市民及び事業者の皆様並びに関係各位に対しまして、厚く御礼申し上げます。

令和4年3月

高萩市長 大部 勝規

目次

1	はじめに	1
(1)	ビジョン策定の背景・目的	1
(2)	上位計画及び関連計画との位置づけ	3
(3)	ビジョンの対象期間	3
2	再生可能エネルギービジョンの対象	4
(1)	再生可能エネルギーとは	4
(2)	対象とするエネルギー	7
3	エネルギーを取り巻く社会状況	8
(1)	国の取組状況	8
(2)	茨城県の取組状況	13
(3)	高萩市の取組状況	15
4	高萩市の地域特性	19
(1)	自然特性	19
(2)	社会特性	21
(3)	アンケート調査	22
(4)	再生可能エネルギー導入ポテンシャル	28
5	地域特性を踏まえたビジョンの方向性	35
(1)	ポテンシャルを基にした方向性	35
(2)	再生可能エネルギーの導入ビジョン	36
(3)	ビジョンの推進に向けて	58
6	資料編	59
(1)	高萩市再生可能エネルギービジョン有識者会議 参加者名簿	60
(2)	ビジョン策定の経過	61
(3)	アンケート調査結果(単純集計)	62
(4)	パブリックコメント(意見募集)の結果について	75
(5)	用語解説	76